

「アンテナの研究」レポート 「RF Systems T2FD VS AlphaDelta DX-SWL」

前回はいきなり「T2FD VS AN-1」という「Passive の中でも定評のあるもの」と「Active の中でも今一 (by PWR) なもの」の極端な比較を行ってしまった。そこで今回は Passive (ワイヤー系) 同士を比較してみる。今回比較対象として選んだのは米 AlphaDelta 社の DX-SWL というスローパー (傾斜) 式の長さ 18m のワイヤーアンテナである。これを選んだ理由は 自宅の敷地に張れる最長の長さであること、 PWR の WhitePaper で の評価をされていたことによるものである。米 Universal から個人輸入したが、価格は 69.95 ドル + 送料 (もう一本のアンテナ RFSystemsEMF と一緒に注文して 40 ドル。半分として 20 ドル) なので計 89.95 ドル。日本円にして 11,000 円といったところ。(T2FD は約 30,000 円)

さて結論であるが、DX 分野ではやはり T2FD の勝利である。リスニングレベルでは両者さほど差がないように思えたのだが、「聞こえるか聞こえないか」という微妙な DX レベルになると、その差は大きい。T2FD の方が目的の信号をしっかりと拾っておりかつノイズも少ない。結果的に T2FD では受信できるが DX-SWL では受信できていない局が結構ある。RFSystems 強し！ゼニはただ取らんといったところか？

次回は「短いアンテナでも DX はできるか？」をテーマとして、上記 EMF(全長 5m)と T2FD(15m)の比較レポートをする。

DX-SWL と T2FD の比較表

Frequency	Station	T2FD	DX-SWL
3976	RRI-Pontianak	34443	34443
4824.4	La Voz de la Selva(?)	23332	×
4965	R.Christian Voice	24432	24332
4976	R.Uganda	24432	24432
4980	Ecos del Tolbes(?)	24332	×

